



2023
農林水産
大臣賞

株式会社 木内酒造1823 (茨城県那珂市)

- ・クラフトビール
- ・ウイスキー
- ・清酒



・アメリカ
・中国
・EU等25カ国

日本産クラフトビール輸出のフロントランナー

取り組み内容

- 世界のビール協議会で評価されたことをきっかけに1999年よりクラフトビールの輸出を開始。ビールの本場の欧米にはない**“日本らしさ”をモットーにクラフトビールを海外に展開。**
- 日本ならではのクラフトビールを実現するため、**地元の農家と協力し、日本の原料（特に地元茨城産）を活かした商品を開発。**
- 一国一代理店を基本に出荷実績は40カ国以上、常時年間25カ国に輸出。**直接現地代理店と取引し、中間コストとリードタイムを削減。**



▲台湾向け蜜柑HOPS



▲台湾における陳列





2023
農林水産
大臣賞

株式会社クボタ (大阪府大阪市)



・米(玄米)



現地精米で美味しいお米のバリューチェーンを再構築

取り組み内容

- 当社では**玄米輸出+現地精米をコンセプトに、この10年ほど日本産米の買付・輸出事業を展開**している。
- 農業機械輸出事業で培ったネットワークを活用、グループの総合力を生かして現地販社・保冷倉庫を設置し、現地需要家とのパイプを作って市場開拓を進める。
- 国内生産者からは直接買付し、各県の港から輸出する。**生産者・行政との協業を深め、日本の農業バリューチェーンの再構築に貢献**する。
- 2022年までに累計3万tを輸出しており、**日本の総輸出量の21%を占める**までに成長。特に**香港・シンガポール市場ではそれぞれ3割超、4割超を占める**。



▲玄米で輸出／保冷コンテナに最適なフレコン採用



▲シンガポールの精米所



久保田米業▶
(香港) 有限公司

▲Kubota RiceIndustry(シンガポール)





2023
農林水産
大臣賞

濱田酒造株式会社

(鹿児島県いちき串木野市)

- ・本格焼酎
- ・リキュール
- ・スピリッツ



「世界に冠たる酒へ」国際事業戦略構築と基盤強化

取り組み内容

- 明治元年（1868年）創業以来の伝統を守り、**鹿児島県産のさつまいもにこだわった本格焼酎を造りつつ、海外ユーザーの飲酒習慣や嗜好を調査、マーケットインの発想で輸出専用商品の開発・展開を行った。海外向けに開発した「DAIYAME 40」は世界三大酒類コンペティションで部門最高金賞を受賞している。**
- 海外現地のどの販売店に商品を扱ってほしいかをもとに、**輸出業者それぞれの強みを踏まえ、商品ごとに取扱い先を選定することで、戦略的な販路開拓を行っている。**
- 安心安全の品質を守るため、第三者機関による監査を重視し、**2006年にISO9001、14001、2018年にFSSC22000を取得し、レベルの高い食品安全管理を示している。**



▲ DAIYAME 40



伝統を守りつつ
▼革新に取り組む



FSSC22000
を取得した▶
傳藏院蔵外観



コロナ禍でオン
ラインによる手段を
拡充した▶

◀ イベントで「だいやめ」が「フレッシュ感」、「ライチのような香りが素晴らしい」等評価を得る





2023
農林水産
大臣賞

株式会社ナンチク (鹿児島県曾於市)

・牛肉
・豚肉
(ゆずポーク)



お客様に寄り添った教育と個別要望対応で輸出増

取り組み内容

- **1990年/対米輸出牛肉処理認定工場第1号** (厚労省認定)。2019年/対EU向け輸出工場の認定を受け、輸出先国拡大に取り組む。
- 県内の自社牧場や生産農家から牛・豚を仕入れ。鹿児島県産の「**KAGOSHIMA WAGYU**」、「**KAGOSHIMA KUROBUTA**」ブランドでの輸出を牽引する。
- 曾於市の名産・柚子の加工品製造時に出る柚子の皮等を活かし、豚の餌に配合し自社ブランド「ゆずポーク」を生産。シンガポールで人気となり、売上を急伸長させた。
- **牛肉の現地カット指導によりに技術を共有**することで、現地では取り扱われていなかった牛肉の売上増につなげた。



関連農場ではアニマルウェルフェア
に対応した肥育を行う▼



◀ 人気が伸長しているゆずポーク



▲ カットイング
指導の様子



「KAGOSHIMA WAGYU」
「KAGOSHIMA KUROBUTA」
の統一名称により輸出▶

